

〈令和5年度〉ミライカナエル活動サポート事業 協働コース（行政以外との協働）

団体名	特定非営利活動法人 湘南食育ラボ
協働相手	特定非営利活動法人 laule'a
事業名	ハレの日を楽しむユニバーサルレストラン
事業期間	2023年（令和5年）4月1日～2024年（令和6年）3月31日〈事業2年目〉
事業費	1,550,172円（うち藤沢市補助金 1,000,000円）

事業の目的

加齢による嚥下障害については知られていますが、食べることに困難を抱えている子どもたちがいることはあまり知られていません。ラウレアさんとのやり取りの中で嚥下に障がいのあるお子さんが外食時、中でも七五三やクリスマスなどの”ハレの日”にも家族で同じものが食べられなかったり持込も拒否されたりすることがあるということを知りました。家族で楽しめるハレのディナーのランチ、ディナーの宅配とともに、食形態に関わらず家族で同じ食事が楽しめるユニバーサルレストラン等をプロジェクト化し障がいによって嚥下の難しいお子さんとご家族が笑顔で食生活を送れる為の活動を推進します。

事業の内容と成果・効果

- ・2023年4月 昨年度実施したアンケートや視察を元に、実際のユニバーサルレストラン実施に向けた環境作りやユニバーサルレストランメニューの考案を開始
- ・2023年5月 研修の受講及びメニューの試作等を実施①
- ・2023年7月 スナック都ろ美講習会・試食会の受講
講師2名、参加者21名
(湘南食育ラボ、laule'a、嚥下障がいのある方及び家族)
- ・2023年8月 研修の受講及びメニューの試作等を実施②
ユニバーサルレストラン会場の視察・決定
- ・2023年9月 予約システムの運用開始
- ・2023年10月 研修の受講及びメニューの試作等を実施③
- ・2023年11月 ユニバーサルレストラン会場の装飾を製作
(クリスマスツリー壁面装飾、ガーランド作成等)
チラシ印刷 250部(養護学校、市役所、市民センター他)
研修の受講及びメニューの試作等を実施④
- ・2023年12月 「ユニバーサルレストラン実施」12月10日(日)
会場 Nico's Kitchen(藤沢市大鋸)
来場者 5家族(嚥下に障がいのある方5名、ご家族7名、
他市民活動推進センター取材)
- ・2024年1月 レストラン実施の振り返り



〈成果・効果〉

目ざす成果は、「食のバリアフリー」の実現により、異なる食形態でも楽しく食事の場を共有する機会を広げること、社会参加のハンディとなっている食の場の制約を解消することでした。



具体的目標は3～5家族でしたが、実際は5家族の参加がありました。今回の参加者の多くは laule'a や市民活動推進センターに関わる方が多かったですが、取り組んでいる社会(地域)を藤沢と考えると、藤沢市内にいるお子さんの嚥下障害により食事に困難を抱えているご家庭の悩みを少しは解消し、暮らしの豊かさの向上に繋がったのではないかと思います。



事業を実施しての課題・今後の取組

本事業開始前に想像していたよりも遥かに嚥下による障がいによって食形態に配慮の必要なお子さんとそのご家族は様々な場面で苦労を感じていることが分かりました。しかし、そういったお子さんの数は決して多くないため、なかなか理解や支援が進んでいないのが現状であり課題と感じています。例えば、飲食店でペースト食や刻み食の提供だけで手間もかかり、大型の車椅子が入れるようにすると更ハードルも上がります。そのため、個々のお店や事業者だけでなく行政も補助金等で関わっていただければ、少しずつ解決していくのではと感じました。

団体内部の課題も上記の課題に通じることですが、やはり個人レベルでこういった食事を提供するにはコストもかかり集客も容易ではないということです。たくさんの人を集めすぎても対応は難しいですが、数人だけしか集まらない場合も一人当たりの金額が上がってしまうなどの問題があると感じています。